

FRONTLINE Vol.15

「見えない技術」を支える「知」の力 モノづくりの真価を今、発揮する.....04
木下佳明・竹内薫

特集 uVALUE創出を加速する「実業×IT」

一家一言 ダボスからの便り.....09
尻玉文雄

Technotalk 社会イノベーションを加速する、プラットフォームの進化.....10
三浦修一郎・澤口文彦・北井克佳・香田克也

Overview 「知の融合」が促す、革新的価値uVALUEの創出.....13
Intellectual Fusion can Accelerate to Create the Most Innovative Value Such as uVALUE
横井健二・塚越敏晴

日立グループの経験とノウハウを活用したアウトソーシングサービスの提供.....20
Outsourcing Services Based on Experiences and Know-How in Hitachi Group
石川太郎・今村純・高木健二郎・山下良介

日立グループの経験とノウハウを生かした企業改革ソリューション.....24
事業リスクの定量化と回避、業務効率化による収益性向上
Solutions for Enterprise Innovation Adopting Hitachi Group's Own Experiences and Know-How
川岡明宏・竹林康夫・永江豊・八木敬之

ロジスティクスワンストップソリューションの実践.....28
株式会社サンリブとの共同による物流改革ソリューション事例
Practice of Logistics Solution with One-stop Service
野本孝司・前田久米男・西郷慎志・津田泰明

RFIDの最新動向とUHF帯RFIDを活用したシステム構築事例.....32
The Latest Trend in RFID and a Model Case for Using UHF
豊村信也・若松宏幸・北島理愛・田向芳行

現場情報を価値につなげるセンサネット.....36
Sensor Network Converting Field Data into Users' Value
小高俊之・鈴木昭二・室啓朗・西澤格

知識創造社会を支えるサービスプラットフォームコンセプトHarmonious Computing.....40
Harmonious Computing, Service Platform Concept toward the Intellectual Society
中馬崇尋・石橋賢一・三木良雄

ビジネス変化に強い保険代理店システム構築へのサービス指向適用事例.....44
Case Study of Service Oriented Approach for the Sake of Realizing Insurance Agency Information Systems Easy to Adapt Changing Business Strategy
秋沢充・堀田信雄・相澤宣一

現場から経営まで実業を幅広く支える日立オープンミドルウェア.....48
Hitachi Open Middleware Playing a Key Role for Field Operation and Corporation Management
玉田篤次・茶谷謙一・小川晶子・立原秀和

情報システムの運用効率を向上する「BladeSymphony」のサーバ仮想化機構「Virtage」.....52
“Virtage” for “BladeSymphony”, a Server Virtualization Feature which Improves Server Management Efficiency
上野仁・松村真一・井形博之・山根梯典・對馬雄次・寺村健

新次元の仮想化によりストレージ統合の課題を解決する「Hitachi Universal Storage Platform V」.....58
“Hitachi Universal Storage Platform V” Brings New Dimension of Storage Virtualization
印南雅隆・田淵英夫

Professional Report

「人間×センサ」センサ情報を変える人・組織・社会.....62
Human × Sensor: How Sensor Information will Change Human, Organization, and Society
矢野和男・栗山裕之

特集「uVALUE創出を加速する『実業×IT』」 監修

日立製作所
情報・通信グループ
経営戦略室
uVALUE・コミュニケーション本部
担当部長
横井 健二



ユビキタス情報社会が進展し、いつでも、どこでも、誰でもが、情報の利活用によってさまざまな価値を享受できる時代となっています。ユビキタス情報社会の特質は、IT（情報技術）の活用によって、さまざまな活動をバーチャルにつなぎ、連鎖させることで、それぞれの活動から生み出される価値を革新的に高められることにあります。

ユビキタス情報社会が生み出す価値の例には、ユビキタスデバイスの一つであるRFID（Radio-Frequency Identification）タグを応用したトレーサビリティの実用化があります。RFIDタグを商品に取り付けることにより、商品の製造時点から生活者の手に渡るまでのサプライチェーン（流通経路）におけるさまざまな情報を記録し、たどることができます。この技術により、流通に携わる人にとっては、効率的な商品流通が可能となり、生活者にとっては安心・安全な商品選びとその利用が可能となります。

日立グループは、事業コンセプトuVALUE（ユーバリュー）を2004年7月から発信し、その考えに基づいた事業活動を進めています。このコンセプトは、日立グループの持つ幅広い事業において長年にわたって培ってきた多様な経験、知識、ノウハウである「真の総合力」を生かして生み出す価値と、お客様が持つ価値を連鎖させることによって、最適価値の協創を意図したもので、そこで創出される価値をuVALUEと名づけています。この「見える価値」uVALUE創出にあたっては、価値づくりをツールとして支える「見えない技術」の核であるITの活用と、そしてひとりひとりが持つ「知の融合」が鍵となります。

今、この「知の融合」について日立グループでは、さまざまな取り組みを進めています。例えば、長年にわたって培われた「知」を次代に伝承するための「e-Meister（イーマイスター）」活動や、日立グループ内でのモノブ

くり技術を社外のお客様に提供する「i-engineering（アイエンジニアリング）」活動、そして新たな「知」を活性化するための「ワークスタイル改革」などの取り組みを展開しています。さらに、お客様との「知の融合」によって、多様なuVALUEの創出を加速していきます。

今回の日立評論では、「知の融合」によって生み出されたさまざまな価値事例と、その価値の創出を支える「見えない技術」であるITに対する日立グループの取り組みをご紹介します。

「知の融合」による価値創出については、(1) お客様の実業の「知」と日立の経験ノウハウの「知の融合」によるアウトソーシングサービスの提供、(2) 研究開発、新技術開発の「知」から生まれたRFIDとセンサネットの実用事例、(3) みずからの実業の「知」から生み出した「内部統制再構築ソリューション」、「BCM（Business Continuity Management）ソリューション」、「ワークスタイル改革」という3つの企業改革ソリューション、(4) 日立の実業の「知」を生かしてお客様との協創から生まれたスーパーマーケットチェーン向けのロジスティクスソリューションなど、異なる「知の融合」形態による価値創出事例を取り上げています。

ITの取り組みについては、サービスプラットフォームコンセプトHarmonious Computingへの取り組みを中心に、企業情報システム像とこれからのプラットフォームに求められる要件を述べています。特に、SOA（Service-Oriented Architecture）や、仮想化をキーワードとしてサーバ、ストレージ、ミドルウェアについての取り組みをご紹介します。

このような日立グループの取り組みをご一読いただき、皆様にとって次の時代と言われる「知識創造社会」を見据えた、新たなビジネスのイノベーションや、新製品開発のイノベーション実践のご参考にいただければ幸いです。

特集

uVALUE創出を 加速する「実業×IT」

工業化社会から知識生産社会へ。ユビキタス情報社会の進展を背景に、パラダイムシフトが加速している。ネットワークを介して膨大な量の情報が飛び交い、知があふれる社会において、問われるのは知の存在そのものよりも、「知をどう使いこなすか」である。異なる知と知を結びつけ、融合させる、その中にこそ社会に新たな発展をもたらすイノベーションは生じる。

事業コンセプトuVALUEに基づき、実業領域で培ったノウハウとITとを縦横無尽に掛け合わせ、お客様にとっての最適価値の創出に取り組む日立グループ。その活動はすなわち、日立グループが有する「知の融合」を図るものであり、次代をひらくイノベーションへとつながる総合力の真価が発揮される場でもある。

協創が拓く、次の時代へのイノベーション

Hitachi uVALUE CONVENTION 2007

日立 uVALUE コンベンション 2007

併催 日立ITユーザ会 第44回大会 日立技術フォーラム2007

日立グループは『社会基盤事業』『産業基盤事業』『生活基盤事業』からなる「実業」と、『情報基盤事業』の「IT」を掛け合わせた真の総合力で、革新的価値uVALUEをお客さまと協創しております。

日立uVALUEコンベンション2007では「協創が拓く、次の時代へのイノベーション」をテーマに、来るべき「知識創造社会」に向けた日立グループの取り組みを講演・展示・セミナーを通じてご紹介いたします。

日時
2007年7月25日[水]・26日[木] 10:00-18:00

会場
東京国際フォーラム(有楽町)

主催
株式会社 日立製作所

最新情報およびご登録はこちら[入場料無料(事前登録制)]

<http://hitachi-uvcon.com>

お問合せ先

株式会社日立製作所 日立 uVALUE コンベンション2007 レジストレーションデスク
TEL 03-5471-3369 FAX 03-5471-3406(10:00~12:00,13:00~18:00土,日,祝日を除く)
E-mail: info@hitachi-uvcon.com

基調講演

7月25日[水] 10:00-10:45

お客さまイノベーションを実現するuVALUE

ユビキタス情報社会が進展し、次の時代「知識創造社会」の到来が近づいています。知識創造社会は、様々な「知」を高度に「融合」させることにより、新たな価値を生み出す時代です。企業でも、新たな価値創出に向けさらなるイノベーションが求められています。日立はお客さまとの価値の協創を、事業コンセプトuVALUEに沿って進めています。本講演では、協創による「知の融合」とイノベーション進化への取り組みとその実例、そしてそれらを支えるIT像についてご紹介します。

株式会社 日立製作所 執行役副社長
情報・通信グループ長&CEO
篠本 学



セミナー

テーマ別セミナー

話題性のある5つのテーマを設定し、各テーマに沿ったセミナーをご用意しました。

1「企業改革の潮流とITガバナンス」

内部統制や事業継続など、企業活動に関するリスクを考え、これに対処するルールが導入されつつあります。これに応え、企業価値向上を図ってゆくには、ITガバナンスが重要な要素となってきました。ここでは、企業改革の潮流とITガバナンスの強化について、事例を交えながらご紹介いたします。

2「ユビキタス時代の地域情報化」

ユビキタス時代の到来によりITを活用した安心・安全・快適な社会の実現に向けた取り組みが官民で積極的に行われています。最近では、より地域や生活に密接した形で浸透しつつあります。ここでは地域における情報化や活性化に関して各方面での取り組み事例を将来動向なども交えながらご紹介いたします。

3「放送と通信の融合・連携」

放送と通信の融合・連携を、社会～ビジネス～生活にまたがる大きな「時代変化」「産業構造変化」と捉え、uVALUEに基づく日立のビジョン、取り組みをご紹介します。また、キャリアやサービスプロバイダの新しい取り組みを通して、みなさまに放送通信融合時代における新しい事業機会の事例をご紹介します。

4「ITプラットフォーム」

業務効率向上だけでなく新たな価値を生み出す手段としてもITへの期待が高まっています。ここでは、知識創造社会に向けたITの考え方や、仮想化、SOA、セキュリティ、内部統制など、最新技術動向やお客さまの課題を解決する各種ソリューションをご紹介します。

5「CSR / 環境」

企業を取り巻く内外の社会・経済環境のグローバル化、IT革命、価値観の多様化などの進展に伴い、環境、世界的規模の貧困、情報格差など、社会が抱える問題は一層深刻化してきました。さらに、昨今、企業不祥事が頻発して、CSRに積極的な企業を高く評価する動きが活発化するなど、企業の社会的責任(CSR)を果たす必要性はますます高まっています。ここでは、日立グループが取り組むCSR活動と各種ソリューションをご紹介します。

「お客さま事例」セミナー

お客さまと日立が価値協創した事例7件をご紹介します。

中堅企業・部門向けソリューションセミナー

中堅企業向けや部門向けにニーズの高い、内部統制、ERP、セキュリティ、情報共有、GEMPLANET等をテーマとした各種ソリューションをご紹介します。

特別協賛 / 協賛会社セミナー

特別協賛 / 協賛会社による先進的な技術や最新のソリューションをご紹介します。

展示

メインステージ

協創が拓く、次の時代へのイノベーション

日立 uVALUEコンベンションのテーマと全体コンセプト、見所をご紹介します。

ビジネス

次代のビジネスを拓くuVALUE

企業改革ソリューション、産業・流通システム、金融システム、自動車機器システムなどをご紹介します。

ライフ

次代のライフを拓くuVALUE

放送と通信の融合・連携、ハイビジョンテレビWooo、都市開発システムなどをご紹介します。

コミュニティ

次代のコミュニティを拓くuVALUE

公共サービス、地域防災システム、鉄道情報システム、電力情報システムなどをご紹介します。

ITプラットフォーム

次代の社会を支えるITプラットフォーム

サーバ仮想化、ストレージ、セキュリティなどに関する最新のソリューションや技術をご紹介します。

中堅企業・部門向けソリューション

CSR、内部統制、経営支援、情報共有、営業支援、セキュリティ、ERPなどに関するソリューションをご紹介します。

CSR

環境、ユニバーサルデザイン / アクセシビリティ、国際貢献など、日立グループのCSR活動をご紹介します。

併催イベント

日立ITユーザ会 第44回大会

主催 日立ITユーザ会

日時 2007年7月25日[水]12:30-16:30・26日[木]10:00-15:00

会場 東京国際フォーラム ホールA / ガラス棟会議室など

佐々木かをり氏を迎えて行われる記念講演のほか、分科会フォーラム、ユーザ事例紹介などを2日間にわたり実施いたします。

ITユーザ会記念講演

主力力を高める～元気に夢を実現するヒント～

株式会社イー・ウーマン、株式会社ユニカルインターナショナル
代表取締役社長

佐々木かをり氏



日時 2007年7月26日[木]10:30-11:30

会場 東京国際フォーラム ホールA

日立技術フォーラム2007

主催 日立返仁会

日時 2007年7月25日[水]12:30-17:00

会場 東京国際フォーラム ホールD7

「脳科学と技術の接点～脳を育む産業へ～」

日立技術フォーラムとは

日立技術フォーラムは、産業・社会に対してインパクトのある先端科学技術をみなさまに紹介する公開講演会で、2001年から毎年日立返仁会の主催で開催しています。今回は、脳科学に深くかかわるサイエンスや技術に焦点をあて、人がよりよく生きるための技術の動向や将来像などについて、世界的権威の講師をお招きしてご講演いただきます。また併せて、この分野の日立の技術をご紹介します。みなさまのご参加をお待ちしております。

日立uVALUEコンベンション2007併設イベントのご紹介

イノベーションサミット2007 事前登録制(無料)

日経ビジネス 主催

Innovation Summit 2007

イノベーションを核に
活力ある持続的成長を目指して

社会も、経済も、企業も、成長の原動力はイノベーションです。「e-Japan戦略」「e-Japan戦略」から「新IT改革戦略」へ、政府は、世界最高水準の情報通信基盤の構築と活用により、さらなる国際競争力の強化に取り組んでいます。そして今、2025年を視野に入れた長期の戦略指針「イノベーション25」が動き出そうとしています。人口減少、少子高齢化、環境・エネルギー問題など、日本を取り巻く様々な課題を乗り越えて、力強く、そして持続的な成

日時 2007年7月25日[水] 13:00-17:00
26日[木] 13:00-17:30

会場 東京国際フォーラム ホールA

主催 日経ビジネス

協賛 株式会社 日立製作所

長を実現するためには、技術革新、経営革新、社会革新、人材革新など幅広いイノベーションが不可欠だからです。イノベーションを生み出すものは何か 日経ビジネスでは、政治・経済・産業など様々な分野の第一人者・有識者、経営トップを講師に招き、「イノベーションサミット2007」を開催いたします。革新の先に広がる未来を見据えながら、ビジネスチャンスと、新たな成長戦略を考えるきっかけにしていれば幸いです。

イノベーションサミット2007講演は、日立uVALUEコンベンションのオフィシャルサイトからも申し込みできます。

<http://hitachi-uvcon.com>

日経ビジネス主催 イノベーションサミット2007

7月25日[水]

13:00 14:00

イノベーション25の実現に向けて

イノベーション担当大臣
高市 早苗 氏



14:30 15:30

構造改革 激動の5年半を振り返って

慶應義塾大学教授
竹中 平蔵 氏



16:00 17:00

危機を乗り越える経営

(株)吉野家ディー・アンド・シー
代表取締役社長
安部 修仁 氏



7月26日[木]

13:00 14:00

JR東日本のイノベーション

東日本旅客鉄道(株)元会長
山之内 秀一郎 氏



14:30 15:30

これが私の発想法

岡野工業(株)
代表取締役
岡野 雅行 氏



16:00 17:30

パネルディスカッション

「持続的成長を実現するイノベーション」

コーディネーター 竹内 薫 氏(科学ジャーナリスト)
パネリスト 児玉 文雄 氏(芝浦工業大学・専門職大学院教授) / 藤原 正彦 氏(経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長)[予定] / 鳴川 竜介 氏(三菱UFJニコス(株) 執行役員 IT事業部長) / 山口 光雄 ((株)日立製作所 執行役常務) / 芦辺 洋司 ((株)日立製作所 特別顧問 兼 (株)日立コンサルティング 特別顧問)

日立評論

HITACHI HYORON

7月号特集監修

北野 昌宏
横井 健二

企画委員

委員長	武田 英次
委員	大田黒 俊夫
〃	武田 晴夫
〃	中村 斉
〃	小野 浩二
〃	中尾 俊次
〃	三根 俊介
〃	大島 信幸
〃	渡辺 克行
〃	石井 潤市
〃	大野 浩市
〃	藤田 寿仁
〃	及川 喜弘
〃	小高 仁
〃	土井 秀明
〃	谷口 素也
〃	井上 晃
〃	水原 登
〃	荻原 淳

次号予告

水環境ソリューション
自動車外界認識技術

日立評論第89巻第7号

発行日	2007年7月1日
発行	日立評論社 東京都千代田区外神田一丁目18番13号 〒101-8608 電話(03)3258-1111(大代)
編集兼発行人	荻原 淳
印刷	日立インターメディックス株式会社
定価	1部735円(本体700円)送料別
取次店	株式会社オーム社 東京都千代田区神田錦町三丁目1番地 〒101-8460 電話(03)3233-0641(代) 振替口座 00160-8-20018

本誌掲載の論文はインターネットでご覧いただけます。
日立評論 <http://www.hitachihyoron.com/>
HITACHI REVIEW (英文) <http://www.hitachi.com/rev/>
本誌に関する個人情報の取り扱いについて
<http://www.hitachihyoron.com/privacy/>
本誌に関するお問い合わせ
E-mail : kikanshi.senden.rw@hitachi.com